

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 109

平成29年10月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力
して設立した研究機関です

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6 階

TEL : 092-733-5707 FAX : 092-733-5680

e-mail : library@urc.or.jp

タイトルバック：田梅朋子氏 撮影

◆URC資料室ニュース

平成 29 年度 第 2 回ナレッジコミュニティ：

「国際都市・福岡の今と未来を考えるー鄒さんが選んだ福岡へのメッセージー」

第 3 回ナレッジコミュニティ：「福岡的未来の賃貸暮らしの可能性

ーライフステージに応じた新しい住まい方を考えるー」を行います！

都市政策資料室では、10 月 27 日金曜日午後 7 時から 8 時半まで、福岡市職員研修センター402・403 研修室を会場に、「国際都市・福岡の今と未来を考えるー鄒さんが選んだ福岡へのメッセージー」と題する本年度第 2 回ナレッジコミュニティを開催します。

福岡市を選んで住まれて 3 年を迎えられる鄒艶さんに、上海の自治体シンクタンクで都市開発を研究された経験や、昨年度 URC 市民研究員として福岡の「シティブランドづくり」を提言された視点から、今とこれからの福岡についてお話しいたします。

後半は上海市で福岡事務所長を 3 年間務められた前回の講師奥田聖さんをモデレーターに迎え、福岡市が発展する国際都市になるための方法を、ご参加の皆様と一緒に考えます。

また、引き続き第 3 回ナレッジコミュニティを 12 月 7 日木曜日午後 7 時から 8 時半まで、清川にある「新高砂マンション」1F「清川ロータリープレイス特設会場」において、「福岡的未来の賃貸暮らしの可能性ーライフ

ステージに応じた新しい住まい方を考えるー」と題して開催します。

本誌 3 ページでご案内する本年度第 2 回都市セミナーでは、「LIFE SHIFT」をテーマに長寿社会での人生のあり方などについて、講演、ディスカッションを行います。が、「それぞれのライフステージに応じた新しい生き方があるのであれば、生活の基盤となる『住まい』についても、新しい住まい方があるのではないか」という思いから行うものです。

ご講演の前には、ビンテージビル冷泉荘のリノベーションミュージアム化で全国的にも知られる講師の吉原勝己さんのご案内で「新高砂マンション」のリノベーション事例を見学させていただきます。ご講演では「ライフステージに応じた新しい住まい方」をご提案いただき、ケーススタディを吉浦隆紀さんからご報告いただきます。さらに後半は講師と会場の皆さまとこれからの住まい・暮らしについて考えます。

いずれも、詳しくはチラシをご覧ください。

◆URCニュース

①2017年アジア都市景観賞の授賞式を中国・銀川市で行いました！



2017年アジア都市景観賞授賞式が、9月28日～29日に中国の銀川市で行われました。今年度は、8か国から53件のエントリーがあり、その中からアジア都市景観賞13件、アジア都市景観賞審査員賞2件の計15件が表彰されました。授賞された15都市、中国や銀

改めてこの賞の重みを感じると共に銀川市政府をはじめ授賞式に携わった方々へ大変感謝されています。



展示場の様子



2017年アジア都市景観賞授賞式会場の様子

川市関係者及び主催団体合わせて200名以上が参加して授賞式が盛大に行われ、歓迎レセプション、ワイナリーや西夏王陵の視察、景観をキーワードに国際交流が行われました。地元の方々からも大歓迎され、複数のテレビや新聞に取り上げられるなど、大盛況のうちに授賞式を終えることができました。授賞された都市の皆様は、

○本年度授賞 全15件

*日本 4件

【アジア都市景観賞】

千葉県柏市、
群馬県草津町、
奈良県十津川村、
大分県豊後高田市

*海外 11件

【アジア都市景観賞】

韓国 3件、中国 3件、

インド 1件、ベトナム 1件、インドネシア 1件

【アジア都市景観賞 審査員賞】中国 1件、インド 1件

写真出典：URC 撮影(嶋岡和久 主任研究員)



草津町受賞の様子

②韓国・テジョン市にて研究報告を行いました。

9月11日、韓国・テジョン（大田）市において、国際会議 2017 Asia Pacific Cities Summit and Mayors' Forum

(APCS2017) にて研究報告を行ってきました。

本国際会議は、アジア太平洋地域における共通の課題の認識とその解決方法に関して議論することを目的に、1996年にオーストラリア・ブリスベン市において第一回会議が開催されました。以降、アジア太平洋地域のさまざまな都市を舞台に隔年にて国際会議が開催されています。第11回目となった本



APCS2017 会場



テジョン市内風景

国際会議には、過去最大となる 150 以上の都市からの報告者が参加し、私は福岡市の状況の報告者として主催者より招聘されました。

Shaping the Future of the Asia Pacific をテーマとした今回の国際会議において、私は Building Smart and Safe Cities と題するセッションに参加し、都市の安全性指標と国際競争力の相関性に関する研究報告を行いました。また、同じセッションには佐賀市代表として佐賀大学の有馬隆文教授が日本の都市の防犯対策に関する研究成果を報告されました。(本国際会議の詳細については

<https://www.facebook.com/2017APCS-1172651372811859> をご参照ください)

テジョン市は、IRBC (国際地域ベンチマーク協議会) に福岡市とともに参加し、韓国ではコンパクトで緑豊かで



セジョン市内風景



セジョン市完成予想模型

住みやすい評価の高い都市として知られています。また、韓国の主要な国立研究施設や大学、政府機能の一部が集積する学園研究都市です。今回の国際会議の合間を縫って、テジョン市から車で約 30 分の距離にあるセジョン(世宗)市を訪問しました。

セジョン市は、当初は韓国の首都機能の移転先として計画された都市であり、現在は首都機能の部分的な移転が進んでいます。目標人口を 50 万人に設定したこの都市の完成予定は 2030 年です。テジョン市とともに、日本よりも激しい韓国の首都圏への一極集中問題を解決するための新しい極としての発展が待たれています。

写真提供・執筆 久保隆行 上席主任研究員・情報戦略室長

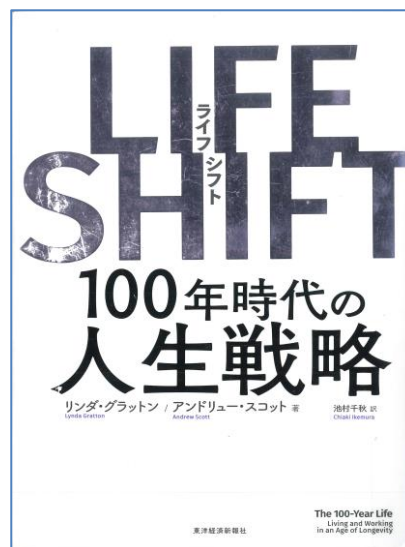
③平成 29 年度・第 2 回 都市セミナー『「LIFESHIFT (ライフ シフト)」』 人生 100 年時代をどう生きるか～自分らしいキャリアデザインの描き方～を開催します。

国の「人生 100 年時代構想会議」の有識者として起用されたリンダグラットン教授の大ヒット著書『「LIFE SHIFT」 100 年時代の人生戦略』では、これまでのような「教育→仕事→引退」といった 3 段階の人生ではなく、ステージに応じてマルチに転身を重ね、複数のキャリアを経験するマルチステージの人生へとシフトしていくと説いています。

今回のセミナーでは初めに、「ライフシフト 100 年時代の人生戦略とは」と題し、(株)東洋経済新報社の佐藤編集長にご講演頂きます。次に、福岡市保健福祉局政策推進部の中村部長より、「超高齢社会への挑戦『福岡 100』」と題し、福岡市の具体的な取り組み内容について、ご講演頂きます。

続いて、当研究所の岡田特別研究員が、『「市民総支え合い社会」に向けての社会情報基盤整備に関する研究』の成果発表を行います。

最後のパネルディスカッションでは、(株)セブンセンス代表取締役社長の吉田拓巳氏や(株)グルーヴノーツ代表取締役会長の佐々木久美子氏をはじめ、福岡を拠点に活躍されている専門家・事業家の方々に、ご自身の経験をもとにライフシフトについてディスカッションして頂きます。



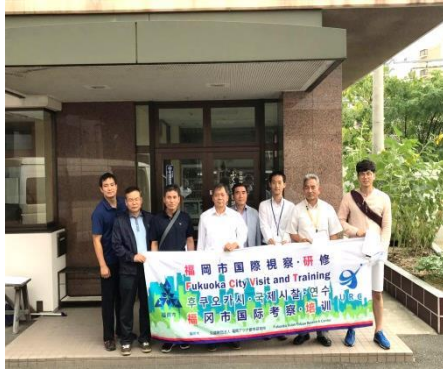
人生をどう設計し、どう生きるのか。ご自身の人生を考えるきっかけになればと開催するものです。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

セミナーの申込み方法や詳細内容等は、URC のホームページや告知チラシをご覧ください。申込み締め切りは、10月17日(火)当研究所必着です。

- 日時：平成 29 年 10 月 19 日(木) 14:00～17:00
(開場 13:30)
- 場所：福岡アジア美術館「あじびホール」
(福岡市博多区下川端町 3-1)
- 定員：100 名 (先着順)

(山本美香 主任研究員)

④国際研修受け入れ報告



2017 年 9 月の視察研修は、韓国から「ソウル特別市永登浦（ヨンドゥンポ）区役所清掃課」、「水原市コールセンター視察団」、「漆谷（チルゴク）郡交通障害者協会」、「忠清南道障害人福祉館協会」、「論山市裁可長期養護機関協会」、「ソウル幼稚園教師視察団」、「忠清南道規制革新課」の 7 団体と、シンガポールから「PUB SINGAPORE'S NATIONAL WATER AGENCY」の 1 団体が、先進事例を調査するため来福しました。各団

体は、FUKUOKA growth next、福岡市市民福祉プラザ、公益財団法人ふくおか環境財団、ももち福祉プラザなどの施設視察を通して、先進的な福岡市の取組について学びました。それぞれの視察団からは、「福岡市の取り組みについて学ぶことが出来て有益だった。」、「日本の国民性についても関心を持たれた。」、「親切な説明と案内に感謝する」などのコメントを頂きました。



写真出典：URC 撮影(李英雄 国際視察研修担当)



◆URCメディア紹介情報—最近1か月の情報を中心に—（抜粋）

◎新聞

(2017/9/29 朝日新聞 朝刊 25p)

十津川の「集落づくり」アジア都市景観賞選出 / 奈良県
アジア都市景観賞連載記事(☆印＝以下同じ)

(2017/9/25 朝日新聞 朝刊 27p)

(南北600キロ)鹿児島市電、軌道緑化10年「緑のベルト」取り組み全国へ／鹿児島県 ☆

(2017/9/21 12:10 日本経済新聞電子版ニュース)

デジタルガレージ、福岡地域戦略推進協議会と提携し福岡市におけるスタートアップ起業支援を開始

URC の「Fukuoka Growth July2016」から開業率データが引用される。

(2017/9/16 東京読売新聞 朝刊 26p)

列島 Weekly47=多摩☆

(2017/9/16 西日本新聞 朝刊 21p)

大分県/県北ニュース=国連のアジア都市景観賞 豊後高田「昭和の町」が受賞 官民一体の地域再生 16 年を評価 ☆

(2017/9/13 東京読売新聞 朝刊 28p)

草津 アジア都市景観賞 県内初受賞 湯畑周辺再整備など評価=群馬 ☆

(2017/9/7 毎日新聞 地方版 24p)

アジア都市景観賞:豊後高田市「昭和の町」28 日表彰式 年 35 万人訪問「他都市の模範」評価/大分 ☆

これまでお世話になり有難うございました

私事で恐縮ですが、9 月末をもちまして、当研究所の上席主任研究員・情報戦略室長を辞することになりました。2014 年に着任してから 3 年半の年月でしたが、福岡市がまさに成長に向けて加速するのに合わせて、福岡市の都市政策にかかわる研究に取り組むことができたことを何よりも幸せに思っています。多くの同僚や関係者の皆様には、この間大変お世話になりました。また、都市政策資料室からも大量に資料を利用させていただき、ご迷惑をおかけした部分もあると思いますが、研究を充実させていくうえでは欠かせない存在でした。今後もより多くの皆様に都市政策資料室をご活用いただけますことを祈念しております。

10 月からは、立命館アジア太平洋大学の准教授に就任しますが、当研究所には特別研究員として籍を残していただくことになりました。引き続きまして、当研究所をサポートさせていただく所存ですので、どうかよろしくお願いいたします。

上席主任研究員・情報戦略室長 久保隆行